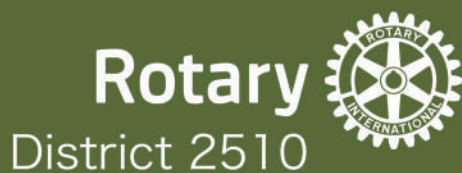


Rotary International District 2510



GOVERNOR's Monthly Letter

Volume 3

9 2026 月発行

2026-2027 ガバナー月信



9月は基本的教育と識字率向上月間
ロータリーの友月間

エゾリンドウ



国際ロータリー第2510地区

2026-2027年度ガバナー 古野 重幸

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail: rid2510@pxva.ne.jp <https://rid2510.org>

2026-2027年度 第2510地区メッセージ 「Discover your joy in Rotary」



オンラインカ・ハキーム・ババロラRI会長ご夫妻と古野重幸ガバナーご夫妻

ガバナー月信 vol.3 (9月号) 目次

ガバナーメッセージ	1
2028-29年度国際RI会長にバラト・パンディヤ氏	2
ガバナー公式訪問報告	3~12
青少年交換壮行会を終えて	13
インターアクト台湾研修旅行の報告	14・15
新会員紹介	16
米山記念奨学会寄付	16
ロータリー財団寄付	16
米山奨学生紹介	17
ガバナーノミニーマニーマン候補者推薦のお願い	17
新札幌RC事務所移転のお知らせ	17
7月会員数・例会数報告	18
地区大会実行委員長のメッセージ	19
地区大会のご案内	20・21
2027年バルセロナ国際大会のご案内	22・23
地区カレンダー(9月・10月)	24
表紙について	25



「カイゼン」 ～前例踏襲を改める～

国際ロータリー第2510地区
2026-27年度ガバナー

古野 重幸
(札幌 RC)

早稲田大学を卒業後、愛知県豊田市にあるトヨタ自動車工業(現、トヨタ自動車)に就職しました。就職活動を共にしていた同じゼミの友人の殆どが銀行に就職するなか、私は金融が向いてないという自覚と将来海外で仕事をしたいという夢もあり、輸出比率50%で当時既に売上利益日本一であったトヨタを選択しました。そのトヨタには父の体調がすぐれず、後継のために今の会社に戻るまでの7年間、主に社外調達部門で勤務をしました。従って、私の仕事面での基礎はすべてトヨタでの勤務経験から成り立っています。

トヨタには「改善後は改善前」という言葉があります。常に改善を繰り返すことが求められているので、何かを改善した後はそれが即改善の対象(改善前)になるという意味です。

どんな企画を上程する場合でも、従前から何を変えたか(改善したか)という点がなければ絶対に承認されません。加えて、改善の歯止め(実施する改善が元に戻らない工夫・対策)と横展開(その改善を他の仕事にも適用できないか)を求められます。実際こんなことがありました。他部署に異動した先輩が1年後に私の所にふらっと訪ねて来て、「どうだ仕事は順調か」と訊かれ、「はい、先輩の作ってくれたマニュアル(改善の歯止めの手段として重要視される)通りやっています」と答えたところ、「お前馬鹿か、未だ俺の作ったマニュアルで仕事しているのか。自分で考えて改善しないとダメだぞ」と言われ、赤面しました。トヨタでは変えないことは恥だという企業風土があり、製造部門での品質管理の考え方が事務部門にも徹底されています。トヨタの”カイゼン“はそのままKAIZENとして世界共通語になっています。

今年度、私は地区運営方針の一つとして、「地区主催の事業は別添の報告書を開催後2週間以内に事務局に提出し、PDCAのサークルを回し改善に繋げる」を掲げました。別添の報告書とはA4一枚で、1.事業内容、2.今回工夫・改善したこと、3.成果と反省点、4.次回実施時の改善点というシンプルなものです。今のところ、しっかり報告をいただいています。

地区の事業はほぼ毎年同じことが繰り返し行われます。ガバナーが単年度制であることもあり、すべての事業が前年通りの内容及び進め方で行われ、結果として何十年もほぼ何も変わらないというのが現実です。今年度は大改革の年ですねとか、どんどんカット(削る)していますねという声が聞こえてきますが、私は単に様々な行事の運営のムダを省き効率化を図り、ひいては各クラブの皆さんの時間的経済的負担を出来るだけ軽減したいと考えているだけです。どんな組織にもカイゼンは必要です。前例踏襲は改めましょう。

2028-29年度 国際ロータリー会長に バラト・パンディヤ(Bharat Pandya)氏



インド・ムンバイのBorivli(ボリブリ)ロータリークラブ会員である
バラト・パンディヤ(Bharat Pandya)氏が、会長指名委員会により
2028-29年度国際ロータリー会長として選ばれました。
対抗候補者が出ない場合、同氏は9月15日に正式に会長ノミニーとなります。

パンディヤ氏は、ムンバイのセスG.S.医科大学とキング・エドワード記念病院で学士号および大学院学位
を取得後、38年間にわたり一般外科医および腹腔鏡外科医として医療に従事。専門医として高い評価を
受け、インド外科学会と国際外科学会からフェローシップを授与されたほか、ボリブリ医療協会からは優秀
功労賞を受賞しました。インド低侵襲外科学会の創設会員であり、政府支援による職能訓練・技能開発機
関であるJan Shikshan Sansthanの理事および副理事長を務めました。また、Sanskriti Yuva Sansthaと
インディアングローバル財団からムンバイ・ガウラヴ(「ムンバイの誇り」)賞を授与されています。

国際ロータリーの理事と財務長をはじめ、財務委員会や戦略計画委員会を含む数多くの委員を歴任。ま
た、ロータリー財団では管理委員、副管理委員長、執行委員長、財務委員会と資金管理委員会の副委員長
など、さまざまな役職を務めました。現在は国際ロータリープログラム委員会の委員長とロータリー財団
プログラム委員会の副委員長を務めています。2011年～2015年にはインドのポリオプラス委員会の委員
を務め、その間にインドがポリオ根絶の認定を受けました。

妻のマダヴィさん(インナー・ホイール第314地区の元委員長)とともに、ロータリー財団のメジャード
ナーおよびベネファクターとなっています。ご夫妻には2人の娘と1人の孫娘がおられます。

ガバナー公式訪問例会報告

函館亀田ロータリークラブ

7/13(月)

7月13日に国際ロータリー第2510地区古野重幸ガバナーをお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会では、今年度の地区テーマ「Discover your joy in Rotary」を中心にご講演いただきました。ご自身がロータリーを通じて得た学びや、青少年交換留学での経験を交えながら、職業奉仕の理念や、例会を通じて学び、自らを磨き、その学びを家庭や職場、地域社会へ実践することがロータリーの原点であるとお話いただきました。



また、「You Are Rotary(あなた自身がロータリーである)」という言葉を紹介され、クラブの魅力は会員一人ひとりの活動によって築かれること、それぞれが自らの「Joy」を見つけることの大切さを力強く伝えられました。

今回の公式訪問は、会員一同がロータリーの理念を改めて学び、今後の活動への意欲を新たにすると大変有意義な機会となりました。

函館ロータリークラブ

7/30(木)

7月30日、国際ロータリー第2510地区2026-27年度古野重幸ガバナー、嶋崎修一第10グループガバナー補佐、武部幸紀地区代表幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

今年度は、例年の形式にとらわれることなく、新しい運営スタイルのもとで公式訪問が行われました。例会では、古野ガバナーよりガバナー方針やロータリーの現状に加え、「良いものは残しつつも、既存の形式にとらわれず、より効率的で実りある地区運営を目指す」という考え方についてお話をいただきました。会員一同、改めてロータリー活動の本質を考える貴重な機会となりました。



会員一同、改めてロータリー活動の本質を考える貴重な機会となりました。

函館RCでは、長い歴史と伝統を大切にしながらも、時代に即した変化を柔軟に受け入れ、より魅力あるクラブづくりを目指しております。今回の公式訪問は、大変意義深い一日となりました。ご来訪いただきました古野ガバナーをはじめ、地区役員の皆様に心より感謝申し上げます。

ガバナー公式訪問例会報告

長万部ロータリークラブ

7/16(木)

7月16日、古野重幸ガバナー、第10グループ 嶋崎修一ガバナー補佐、武部幸紀地区代表幹事をお迎えして公式訪問例会が開催されました。

10時15分：武澤信行会長と角健幹事は、役場庁舎で古野ガバナー一行をお迎えしました。当クラブが設立10周年を記念して町に寄贈した大理石の「町民憲章碑」、設立40周年記念に寄贈したポケットパークの「花壇」を紹介させていただきました。

10時30分：長万部町長表敬訪問。当クラブ会員でもある木幡正志町長、ほかに佐藤英代副町長、近藤英隆教育長と懇談。長万部町は、新幹線軌道工事で橋りょう・高架橋工事が国道から見える状態で工事が進行していること、町は、新幹線貨物構想・長万部貨物ターミナル駅誘致に関する要望書を北海道に提出した話題などで、懇談は50分に及びました。

11時30分：会長・幹事懇談会は、幹事から我がクラブの方針は「ロータリーを楽しもう、奉仕と親睦そして地域と共に」であること、クラブの現状は9名の会員で月2回の通常例会と月1回夜間例会を開催していること、ロータリー家族の交流は、春には「家族花見会」、暮れには「クリスマス家族会」を実施していることなどを報告しました。

12時10分：第4591回例会は、公式訪問例会です。会長は、ガバナー一行を順次紹介し、挨拶では先輩達から築きあげてきた歴史を継承しながら、多くの活動に取り組み実施している旨を伝えました。

古野ガバナーからは「クラブ活動は会員の人数の多いクラブ、少ないクラブがありますが会員同士が奉仕と親睦など、仲良く楽しい活動を実施していることが大切です」という言葉をいただきました。また、ロータリー家族の交流も大切なこと。国際ロータリーはポリオ根絶、世界平和の推進、会員増強とクラブの活性化、退会防止、インパクトをもたらす変化を掲げていること。ロータリークラブの活動は過去のやり方にこだわらず改革していくことが大切であり、また今年度の方針に掲げているように『ロータリーを楽しもう』と、激励をいただきました。

最後に、古野ガバナーを囲んで随行者と一緒に記念撮影し、ガバナー公式訪問例会は終了。誠にありがとうございました。



クラブが寄贈した町民憲章碑

ガバナー公式訪問例会報告

北斗ロータリークラブ

7/16(木)

7月16日、古野重幸ガバナー、武部幸紀地区代表幹事、田畑裕士第11グループガバナー補佐を迎えての会長・幹事懇談会を開催致しました。田畑ガバナー補佐の進行で始まり、黒萩裕会長よりクラブの活動を次のように報告いたしました。

北斗市が毎年8月の夏休み期間に開催し通算18回を数える「きっずアドベンチャー」(北斗市内小学生3年生～6年生を対象)は、例年当クラブ直前会長が実行委員長に就任しています。実行委委員会は、当クラブのほか函館地方隊友会(自衛隊員OB)、函館地方隊友会北斗支部、陸上自衛隊函館駐屯地28普通科連隊、北斗市スポーツ、北斗市社会教育委員会、北斗市教職員有志で組織。この催しで使うテントは、当クラブ創立10年の記念として北斗市に寄贈させて頂いたものです。昨年は、小学生18名とサポート役の中学生6名が参加。当クラブは、恒例の焼き芋作りのほか、一昨年から佐々木会員によるドローン講習会を実施し参加者に操作体験をして頂いています。

「ほくと防災マルシェ」にも協賛しており、ポリオ根絶キャンペーン募金活動を行い、募金をしてくれた方には、当クラブ自慢の焼き芋を手渡しています。また、ドローン体験会も好評を博しています。この活動が公共イメージ向上に繋がることを期待しています。ちなみにポリオ募金には23,651円が寄せられ、全額を寄付いたしました。

当クラブでは、夜間例会に奥様を招待しています。奥様同士の会話も弾み和気あいあいの中で、有意義な夜間例会となっています。10月24日開催予定の北斗RC創立30年記念式典にも、奥様を招待する予定です。

以上の報告に対し、古野ガバナーからは「少人数の会員ながら地域と密着した活動や家族を大切にす運営はロータリークラブの基本で、継続して活動して下さい」とエールを送っていただきました。



報告の後からは、例会となり、ロータリーソング「奉仕の理想」の歌唱、「四つのテスト」の唱和、古野ガバナー、田畑ガバナー補佐、武部地区代表幹事の紹介と続きました。ビジターで、エイヴォン・オタカロRC(ニュージーランド)の西山雅規会員がメイクアップで参加されたこともあり、古野ガバナーが、高校時代に、ロータリー青少年交換で、オーストラリアに留学した時のお話をして頂きました。当クラブでの現在活動している事業を継続して、より一層の奉仕活動に邁進して頂きたいとお話を頂きました。和気あいあいの中、無事ガバナー公式訪問が終了致しました。

ガバナー公式訪問例会報告

深川ロータリークラブ

7/21 (火)

初夏、緑深まる深川にて、ガバナー公式訪問が開催されました。

古野重幸ガバナー、武部幸紀地区代表幹事をお迎えしての会長・幹事懇談会では、ロータリーとは何の団体なのかという根源的な質問がなされ、出席者による様々な意見交換が行われました。

財団や米山に対して寄付をすることで、世界の地域で多くの困りごとの解決や人的支援・育成につながっていること。各クラブに於いて、実際に体を動かし汗を流して奉仕活動している事例から、寄付と奉仕活動は車の両輪のようにどちらも重要であるとガバナーはお話し下さいました。

例会では、新会員2名の入会式が行われ、古野ガバナーより、ロータリーバッジと4つのテストが授与され、40代2名の入会に際し祝福の拍手が響きました。

卓話では、ロータリーの基本は職業奉仕であり、稲盛和夫氏(実業家、技術者。京セラ創業者、日本航空を再建)が大切にされた『利他の心』で自分の職業を極めて仕事を通じて社会に貢献していくこと、『入って学び、出でて奉仕せよ』がロータリーの理念であり、学びを深め、奉仕に汗を流しましょう、との熱いメッセージをいただきました。

例会終了後、深川市長表敬訪問を行い、ガバナーからロータリーがお役に立てること、また深川市がロータリーに求めることなどを今後意見交換していきましよう提案して頂きました。帰り際、深川市役所の自動ドアが「フルテック」(Fulltech、古野ガバナーの会社)であることを笑顔で確認されていたことが印象的でした。

古野ガバナー、武部地区代表幹事、当クラブ訪問、ありがとうございました。会員一同、心より感謝申し上げます。



ガバナー公式訪問例会報告

函館東ロータリークラブ

7/28(火)

7月28日(火)にガバナー公式訪問として古野重幸ガバナーにお越しいただきました。ガバナーには17時半から開始の会長・幹事懇談会に20分ほど早くお越しいただきましたので、まずは開始時刻まで雑談タイムです。

函館にはガバナーのお母様のご実家があるため、幼少期の夏・冬休みは函館でお過ごしだったとのこと。雑談では函館のローカルな話で盛り上がり、その和やかな雰囲気のまま会長・幹事懇談会に入らせていただきました。こちらではクラブの活動報告や問題点、これからの展望などをお話しし、ガバナーには当クラブの活発な活動にご理解いただけたと思っております。

その後の夜間例会で30分ほど卓和をいただき、ガバナーメッセージである「Discover your joy in Rotary」についてのお話や、ロータリーへの思いを聞かせていただきました。

卓話の後は当クラブ恒例の「出航夜間例会」です。新年度を迎え、会長と幹事が一年間の長い航海を無事に終えることができるよう祈願する夜間例会です。ガバナーには新年度の会長・幹事へ「船舶操縦免許」を渡すセレモニーを見守っていただきました。

セレモニーの後は、テーブル対抗「会長・幹事クイズ」です。もちろんガバナーにもご参加をいただき、最後は「ガバナークイズ」で締めさせていただきました。

古野ガバナー、そしてご同行いただきました田畑裕士ガバナー補佐と武部幸紀地区代表幹事にはご多忙にもかかわらず夜間例会にご出席をいただき、ありがとうございました。また函館にお越しの際は是非お昼の例会を見ていただきたいと思います。



ガバナー公式訪問例会報告

札幌北ロータリークラブ

8/3(月)

古野重幸ガバナーの公式訪問が8月3日、グランドメルキュール札幌大通公園にて行われました。

「RIの方針を一方的に伝える場ではなく、クラブ会員との和やかな時間にしたい」との古野ガバナーのお考えから、今回の公式訪問で、ご自身とロータリーの歩みを中心にお話しいただきました。

幼少期よりお父様を通じてロータリーを身近に感じて育ち、16歳で交換留学生としてオーストラリアへ渡った経験が、その後の人生に大きな影響を与えたこと。留学当時のホストファミリーとは50年以上経った現在も交流が続いており、ロータリーが生み出す人と人とのつながりの深さを、実体験を交えてお話しいただきました。

また、これまでのロータリー活動やクラブ運営に携わる中での経験にも触れ、時代に合わせて変化することの大切さと、その一方で変わらず大切にすべきロータリーの精神について語られました。

古野ガバナーの歩みを通して、「与えることの喜び」と、人のご縁を育み続けるロータリーの価値を改めて感じる、温かく有意義な公式訪問となりました。



長沼ロータリークラブ

8/3(月)

8月3日(月)に古野重幸ガバナー、武部幸紀地区代表幹事、花輪博一第7グループガバナー補佐をお迎えしました。長沼RCらしい終始和やかな雰囲気が進みました。

1991年12月設立、翌年1月にRI加盟承認された当クラブは今年度35周年の節目を迎えました。会員15名中チャーターメンバーが6名と比較的多く、女性会員3名は全員チャーターメンバーです。そんな当クラブも会員のほとんどが60～70代。肩ひじ張らないアットホームな雰囲気がクラブの自慢のひとつですが、会員増強はここ数年の課題となっています。

古野ガバナーからは、「クラブ創立時からの会員にぜひクラブの歴史を聞き、クラブ存続へつなげてほしい」「過去から学び自信を持って活動してほしい」とのお話がありました。武部地区代表幹事からも、「若い年齢の会員を増やしたいという四釜会長エレクトの心意気を感じた。ぜひ会員増強してほしい」と、激励の言葉をいただきました。昨年入会し、今回は小田原からZoomで出席の片岡会員も集合写真に収まってもらい、アナログ一辺倒からDX?化(と言うほどDXでもないですが)を試行錯誤しつつ進めながら、新たな仲間が増えてくれればと願っています。



「長沼RCの良いところをどんどんアピールしてほしい」との花輪ガバナー補佐の期待に応えられたでしょうか? ガバナー、地区代表幹事、ガバナー補佐への記念品として、政角会員制作のスマホスタンドと四釜会員が育てた長芋をお贈りしました。

ガバナー公式訪問例会報告

苫小牧北ロータリークラブ

8/4(火)

8月4日(火)、古野重幸ガバナー及び福山眞司地区副代表幹事、山本浩平第12グループガバナー補佐にお越し頂き、会長・幹事懇談会とガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会に先立ち行われた会長・幹事懇談会の冒頭に古野ガバナーから、「ガバナー公式訪問と同時にクラブ協議会を開催しないことをどう感じますか?」と問われ、「今までの公式訪問とスタイルが違うので戸惑っています」と答えさせていただきました。ガバナーからはクラブ協議会を同時に開催する地区のほうが少ないと教えて頂き、その後 当クラブの活動について説明を致しました。

例会時には古野ガバナーより、熊本地震の被災者への支援についての協力を呼びかけられました。その後ご自身が高校時代に交換留学生としてオーストラリアで過ごした1年間で人生に大きな影響を与え、ロータリーへの感謝と奉仕の大切さをお話いただき、また「ロータリーを知り、参画し、そして楽しむ」という考えで、活動を通じて一人ひとりがロータリーの価値や喜びを見つけてほしいと話されました。

ガバナーの貴重な経験談をお聞きして、全会員が多くの学びを得られた例会となりました。



苫小牧東ロータリークラブ

8/6(木)

当クラブへガバナー公式訪問をいただき、心より感謝申し上げます。会長・幹事懇談会および例会では、和やかな雰囲気の中で温かいご指導と有意義な意見交換の機会をいただき、会員一同、奉仕への意欲を新たにすることが大変貴重な一日となりました。

当クラブは会員数約30名のうち約3割を女性会員が占めており、若手役員が中心となって風通しの良い活気あるクラブ運営を行っています。姉妹提携クラブと長年継続している「クリスマスドロップ作戦」や地元の学生たちと汗を流す「ゼロゴミ(053)運動」など、地域と世界を結ぶ実践活動に注力しています。

懇談会では、若手の育成や当クラブが誇るロータリー財団への高い貢献度に対して大変温かいお言葉を頂戴し、今後への大きな励みとなりました。

山田亮太会長のもと、今回いただいた貴重なアドバイスを糧とし、先輩方が築いた伝統を守りながら、時代に合わせた魅力あふれるクラブ運営と奉仕活動に精進してまいります。



ガバナー公式訪問例会報告

真駒内ロータリークラブ

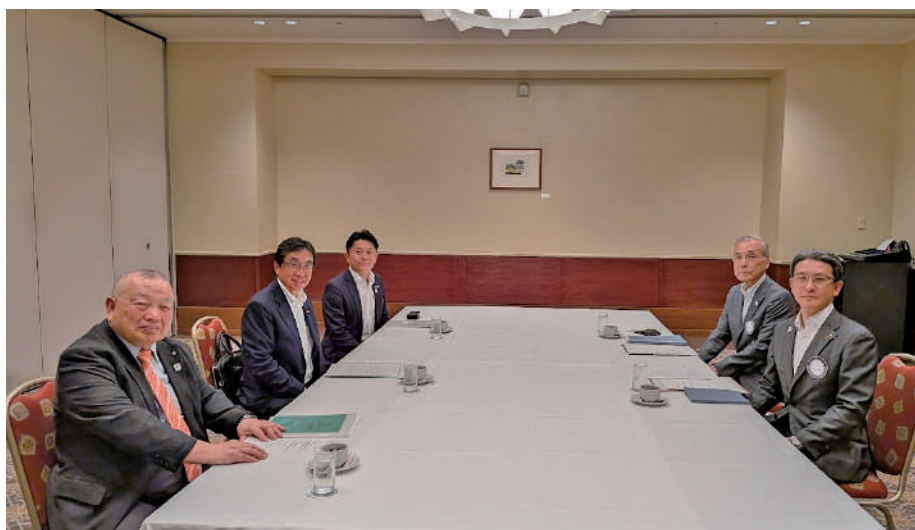
8/5(水)

ガバナー公式訪問として古野重幸ガバナー、武部幸紀地区代表幹事、齋藤康嗣ガバナー補佐にお越しいただきました。今年度はクラブ協議会が無いということで時間的にゆったりと会長・幹事懇談会をスタートすることができました。

昨年の地区大会に向かうJR車中で、古野ガバナー（当時はガバナーエレクト）と当クラブ会員が楽しくお酒を酌み交わした「宴会」のことや、今年度のガバナーメッセージに込められた思いまで、例会ではとてもわかりやすく楽しくお話しくださいました。



当クラブは1974年に創立し2年前に創立50周年を迎えました。人数は20名前後と少ないのですが、動きやすい規模を活かし、移動夜間例会を開催するなど親睦を深めることを大切に活動しています。姉妹クラブ、友好クラブとのかかわりも特徴のひとつです。女性会員が30%ほど在籍し、明るく元気な雰囲気も自慢です。年齢層はやや高めですが、周年行事に際しては自分たちの会員数よりはるかに多いお客様をお迎えして賑やかに開催することができました。クラブの雰囲気を公式訪問で少しでも感じていただけていれば幸いです。



ガバナー公式訪問例会報告

苫小牧ロータリークラブ

8/7(金)

8月7日(金)ガバナー公式訪問として、各行事が行われました。11時より苫小牧市役所にて「市長表敬訪問」として金澤俊苫小牧市長を訪ね、開催中の苫小牧港まつりの話題などIR誘致や地域活性についてなどを話題に、懇談をいたしました。

表敬訪問終了後、例会会場のグランドホテルニュー王子に移動し、11時30分より「会長・幹事懇談会」を開催。古野重幸ガバナー、山本浩平ガバナー補佐、当クラブ細谷祐輔会長を中心にクラブの状況や会員増強の重要性、またロータリーの課題などなど、踏み込んだ内容での意見交換をしました。また、ガバナーから貴重なご意見を頂戴しました。

その後会場を移動し12時30分から例会を開催しました。古野ガバナーからは、経済人としてロータリアンとして自らの経験から、貴重なお話を頂戴し、多くの学びを得ることが出来ました。卓話後には記念撮影をし、終了となりました。有意義な時間となり今後のクラブ活動に大変参考になりました。



苫小牧市長を表敬訪問

ガバナー公式訪問例会報告

室蘭東ロータリークラブ

8/19(水)

古野重幸ガバナー、早瀬芳宏第9グループガバナー補佐、武部幸紀地区代表幹事、鈴木敏則ガバナー補佐幹事をお迎えし、8月19日(水)、ガバナー公式訪問が開催されました。

室蘭東RCは、1961年1月25日に室蘭RCをスポンサーとして設立され、現在27名(男性25名、女性2名)で活動しています。地域奉仕活動では、会員の専門性を生かして法律・医療・介護・育児など幅広い相談に応じる「あれこれなんでも相談会」や、イタンギ浜周辺の清掃活動を継続しています。また、北海道大谷室蘭インターアクトクラブの支援・指導など、青少年育成にも力を入れています。

会長・幹事懇談会では、会員減少や会長・幹事・事務局の事務負担など、クラブ運営の現状と課題について意見交換が行われました。ICTやDXを活用した事務作業の効率化や業務のマニュアル化が、今後のクラブ運営に重要であると感じました。

ガバナー講話では「Discover your joy in Rotary」というテーマが特に印象に残りました。ロータリーは例会への出席だけでなく、奉仕活動や会員との交流などに自ら積極的に参加し、その中から一人ひとりが喜びや価値を見つけることが大切だと学びました。また、「小さな力でも、多くのロータリアンが集まれば大きな力になる」という言葉にも共感しました。

今回の公式訪問を通じ、ロータリーを楽しむためには、まず自ら知り、参加し、行動することが大切だと改めて感じました。今後も積極的に活動に参加し、自分自身のロータリーの喜びを見つけながら、クラブの発展に貢献していきたいと思います。



2026-2027年度 国際ロータリー第2510地区 青少年交換壮行会を終えて

7月25日、第2510地区から交換派遣される生徒（高校生）の壮行会を無事に終えることができました。これもひとえに、ロータリアンをはじめ青少年交換事業に理解とご協力をいただいている皆様のおかげです。この場を借りてお礼申し上げます。

本年度の当地区派遣交換学生は5名の予定となっており、賑やかで実りのある一年となる事を楽しみにしています。

さて、派遣高校生は選考会を経て、地区青少年交換委員会によるオリエンテーションを1年間、合計12回修了し、壮行会当日を迎えています。

本年度の派遣高校生は部活動や学校の行事に熱意を持っている生徒が多く、学校の行事や部活動の大会に参加しながらも、意欲的かつ真剣にオリエンテーションに参加している姿がとても印象的でした。

本年度派遣候補生の所属学校・スポンサークラブ・行先受入地区について簡単にご紹介させていただきます。

佐藤 美心さん	札幌第一高等学校	札幌南 RC	アメリカ第 7770 地区
小砂 咲葉さん	札幌日本大学高等学校	札幌東 RC	アメリカ第 5970 地区
山田 恋白さん	遺愛女子高等学校	函 館 RC	アメリカ第 5970 地区
今井 椿さん	北海道北広島高等学校	恵 庭 RC	オーストラリア第 9640 地区
鳴山 瑞姫さん	北海道千歳高等学校	札幌北 RC	Switzerland MD
(スイス国内で移動します)			

彼女たちが1年後、大きく成長して帰国する姿がとても楽しみです。

話は変わりますが、札幌東RCスポンサーによる派遣学生小砂咲葉さんのご両親は、なんとご両親ともに34年前に同じく札幌東RCのスポンサーにて当時青少年交換を経験しているROTEX（ローテックス、国際ロータリーの青少年交換プログラムを経験した帰国生とその組織）です。自分たちが経験した素晴らしい経験を娘にもさせたいという気持ちもあり、今回の応募に至ったという話をうかがいました。青少年交換事業に地区委員として、そしてロータリアンとして携わってよかったという喜びとともに、当事業のすばらしさを再認識いたしました。

古野重幸ガバナーも高校生の時にこの制度によりオーストラリアに派遣されたとうかがっており、青少年交換プログラム経験者が立派なロータリアンとして成長するお手本と思います。



すでに今年も、来年度の募集がすでに始まっております。

他人のお子様を受入れることが必要な当プログラムは、決して楽な事業ではありませんが、当プログラムだからこそ味わえる喜びや繋がりがあと思っています。

スポンサークラブのご支援のもと、一人でも多くの学生の参加をお待ちしています。

(地区青少年交換委員長 藏重健人 札幌北RC)



2026-2027年度 インターアクト台湾研修旅行の報告

現地大学生の案内で、市内見学も 異文化理解のきっかけに①

2026年7月31日から8月3日(3泊4日の行程)において、台湾の台北市にて、インターアクト海外研修旅行を実施しました。この研修旅行は、コロナ禍による中止期間を除いて毎年実施しています。インターアクトの語源である「国際的な交流・活動」の実践のため、主としてアジア圏を中心とした国を研修のための旅行地として選択しています。

参加者は、インターアクターが8名(岩見沢緑陵高校2名、大谷室蘭高校1名、札幌第一高校1名、札幌山の手高校2名、札幌龍谷学園高校2名)、引率6名(顧問教諭5名と私)、JTB添乗員1名の計15名という構成でした。



約4時間のフライトを終え、現地時間16時30分頃に桃園空港に無事到着し、日本語の堪能な現地ガイド・王さんと合流して、約1時間かけて台北市内に移動。18時頃から、夕食会場のレストランに移動し、しゃぶしゃぶを堪能しました。

その後、19時45分頃から1時間程度、饒河街(ぎょうががい)観光夜市を各自自由に散策しました。同夜市は、約600mの一本道真ん中に延々と様々な屋台が軒を連ねており、金曜日の夜ということもあって大変多くの人で賑わっていました。

インターアクターは、数人程度のグループで夜市全体を歩き回りながら、気になった屋台料理等を購入するなどして楽しんでいました。



最初の行程は龍山寺というお寺です。土曜日ということもあって、多くの方が参拝に足を運んでいました。

インターアクターは、寺院の荘厳かつ流麗な建築様式や意匠を観察したり、2枚の楕形の木札を投げ、「1枚が表、1枚が裏(陰と陽のバランスが取れた状態)」になれば願いが叶うという占いに挑戦して見事1回で表・裏が出たりなど、台湾の宗教文化を楽しみながら学びました。

次に、忠烈祠において、衛兵さんの交代式を閲覧しました。30度を超える猛暑の中、人形のようにぴくりとも動かない状態で、重い銃剣を持って立ち続けている衛兵さんたちの、演舞ともいえるような華麗な交代式を見て、インターアクターも非常に感銘を受けていました。

忠烈祠の次の目的地は、国立故宮博物院です。現地ガイドさんが非常にわかりやすく、また、興味をそそられるようなエピソード等を交えて案内していただき、解説文等が読めない私たちでも、台湾の歴史や文化を学びながら、楽しく展示物を閲覧することができました。

昼食を挟んで、午後には十分での天燈上げです。4人一組となって皆真剣に願いごとを書き入れ、現地スタッフさんの陽気かつ上手な撮影アテンドで楽しく写真を撮ってもらい、天燈が空高く舞い上がっていく様子を堪能しました。その後、「千と千尋の神隠し」の舞台のモデルとなったことでも有名な「九份」に移動し、高台からの景色(夜景)や様々なお土産屋さんを巡りました。

2026-2027年度 インターアクト台湾研修旅行の報告

現地大学生の案内で、市内見学も 異文化理解のきっかけに②

3日目は、旅のメインともいえるべき自主研修（※インターアクターが4人1組のグループを作り、日本人の引率無しにグループだけで台北市内を観光する研修）の日です。JTBの紹介で、インターアクターのグループに、「B&S（ブラザー&シスターズ）」という現地の大学生が1名ずつ案内役として入ってもらい、1日一緒に街を回りながら、異文化コミュニケーションも行うというプログラムを実施しました。

朝9時に出発した各グループは、事前にグループで検討していた行程表にそって、17時の集合時間までの間、現地大学生と共に充実した台北散策ができたようでした。

初めて会ったばかりの現地大学生と、わずか半日程度一緒に過ごただけでしたが、別れを非常に名残惜しそうにしている姿に、引率者としても感激しました。



以上のように、インターアクターは、4日間にわたって大いに学び、大いに楽しみ、非常に充実した体験をすることができました。これもひとえに、提唱クラブをはじめとする皆様のご支援のおかげです。この場を借りて深くお礼申し上げます。

次年度も同様に海外研修を企画したいと考えておりますので、関係各位におかれましては、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

（地区インターアクト委員会委員長 阿部竜司
札幌モーニングRC）



充実した旅程もあっという間に最終日となり、無事日本に帰国となりました。

新千歳空港に到着した後、解散の場において、「もしできるなら、ぜひ来年も参加したい!!」と言いながら、たくさんのお土産をもって晴れやかな顔で帰路についたインターアクターたちの姿を見て、本企画の大成功を非常に嬉しく思いました。



新会員情報

滝川 RC



鷺田 宏治
令和8年7月2日
金融業

伊達 RC



山田 正巳
令和8年7月29日
建築設計

千歳 RC



齋藤 慎輔
令和8年8月6日
福祉サービス業

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌西北RC	小川 眞治	会員 (13回)	7月17日
白老RC	加藤 泰久	会員 (7回)	7月24日
苫小牧北RC	門脇 考靖	会員 (1回)	7月22日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

滝川RC	峯村 征秀	会員 (1回)	7月29日
滝川RC	鷺尾 昌法	会員 (2回)	7月29日
滝川RC	柳 清二	会員 (5回)	7月29日
札幌北RC	大舘 政弘	会員 (2回)	7月31日
函館東RC	國谷 大輔	会員 (4回)	7月28日
苫小牧東RC	佐藤 聰	会員 (1回)	7月30日
苫小牧東RC	吉田 正範	会員 (1回)	7月30日

ポール・ハリス・フェロー

滝川RC	清水 計至	会員	7月29日
滝川RC	山田 直登	会員	7月29日
美唄RC	伊藤 智徳	会員	7月31日
苫小牧RC	細谷 祐輔	会員	7月17日
苫小牧北RC	門脇 考靖	会員	7月22日

国際ロータリー第2510地区 米山奨学生紹介



ムルスク・ティーア

フィンランド
北海道大学
札幌西北RC

私はムルスク・ティーアです。フィンランド出身で、北海道大学4年生です。

現代日本学プログラムの社会・制度モジュールを専攻しており、現在はプロジェクトスタディで「外圧」をテーマに研究しています。具体的には、日本の市民団体がどのように国際的な圧力を活用し、国内政策に影響を与えているのかについて研究しています。

これまでに何度か留学を経験し、その中で国際的な環境や多様な文化に触れることの楽しさを学びました。14歳のときに初めてイギリスの語学学校へ留学し、その後、フィンランドの国際プログラムで学士号を取得しました。また、ドイツへの交換留学や福岡の日本語学校への留学も経験し、現在は北海道大学で学んでいます。

米山ロータリーでの経験は、これまでの期待を大きく上回る素晴らしいものとなっています。この奨学金に特に魅力を感じた理由は、例会に参加できることです。学校以外でも日本語を使い、新しい方々と出会える貴重な機会になると考えるからです。実際に、例会への参加だけでなく、大通公園での花植え活動や石狩湾新港発電所の見学など、多くの貴重な経験をさせていただきました。

これからも米山ロータリーの皆様との交流を通して、多くのことを学び、充実した時間を過ごせることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

2029-2030年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 古野 重幸
地区ガバナー指名委員長 出村知佳子

2029-2030年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛に、指定の書式にてご推薦ください。

(書式はガバナー事務所にお問い合わせください)

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第16.010.節～第16.020.節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第12条(ガバナーの指名と選挙)
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)

[参照]「2025年手続要欄」

新札幌ロータリークラブ事務所移転のお知らせ

移転先・連絡先

住所:〒064-0810 札幌市中央区南10条西14丁目1番25号

GMSビル アンパサンド行政書士事務所内

電話番号 070-2003-5803

F A X 050-3385-1548

会員数・例会回数報告 7月会員増減数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2026.7.1	2026.7.31	増減	内女性
1	深 川	3	26	28	2	2
	羽 幌	3	30	31	1	2
	留 萌	4	22	22	0	4
	小 計		78	81	3	8
2	赤 平	2	17	18	1	3
	芦 別	3	27	27	0	1
	砂 川	4	43	43	0	2
	滝 川	4	78	78	0	7
	小 計		165	166	1	13
3	美 唄	4	20	20	0	2
	江 別	5	32	35	3	3
	江 別 西	3	29	29	0	1
	岩 見 沢	4	94	94	0	3
	栗 沢	4	13	13	0	0
	栗 山	3	20	22	2	4
	当 別	3	28	28	0	3
	小 計		236	241	5	16
4	札 幌	4	110	127	17	3
	札幌はまなす	3	27	28	1	3
	札 幌 北	3	34	34	0	7
	札幌モーニング	4	34	34	0	0
	札 幌 西	2	41	41	0	8
	札 幌 西 北	4	45	45	0	7
	札 幌 手 稲	4	27	27	0	3
	小 計		318	336	18	31
5	札 幌 東	4	94	93	-1	2
	札 幌 清 田	2	9	9	0	3
	札 幌 幌 南	4	62	63	1	8
	札幌真駒内	4	17	17	0	5
	札 幌 南	3	78	79	1	4
	札幌大通公園	3	13	13	0	3
	札幌ライラック	3	11	11	0	1
	新 札 幌	4	21	23	2	6
	小 計		305	308	3	32
6	岩 内	3	33	33	0	1
	倶 知 安	2	32	32	0	3
	小 樽	3	76	76	0	4
	小 樽 南	4	47	49	2	5
	蘭 越	2	7	7	0	0
	余 市	4	39	39	0	4
	小 計		234	236	2	17

クラブ数	65
期首会員数	2,225人
当月末会員数(女性)	2,270人(199人)
増加会員数	45人

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2026.7.1	2026.7.31	増減	内女性
7	千 歳	3	69	74	5	9
	千歳セントラル	3	38	38	0	8
	恵 庭	3	44	45	1	3
	北 広 島	3	17	17	0	3
	長 沼	3	15	15	0	3
	小 計		183	189	6	26
8	え り も	2	16	16	0	1
	三 石	3	10	10	0	0
	様 似	2	4	4	0	3
	静 内	4	52	52	0	5
	浦 河	3	21	21	0	3
	小 計		103	103	0	12
9	伊 達	3	49	50	1	2
	室 蘭	4	27	27	0	3
	室 蘭 東	4	27	27	0	2
	室 蘭 北	3	44	44	0	1
	登 別	5	31	31	0	2
	洞 爺 湖	3	9	9	0	0
	小 計		187	188	1	10
10	函 館	4	66	71	5	4
	函 館 亀 田	3	27	28	1	3
	森	2	29	29	0	2
	七 飯	3	13	13	0	0
	長 万 部	3	9	9	0	0
	函館セントラル	4	27	26	-1	2
	小 計		171	176	5	11
11	江 差	2	10	10	0	0
	函 館 五 稜 郭	4	50	50	0	1
	函 館 東	3	33	33	0	5
	北 斗	4	12	12	0	0
	小 計		105	105	0	6
12	白 老	3	32	32	0	4
	苫 小 牧	4	53	54	1	3
	苫 小 牧 東	4	28	28	0	8
	苫 小 牧 北	3	27	27	0	2
	小 計		140	141	1	17
合 計			2,225	2,270	45	199

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数19名(内女性会員1名)を含む
※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数22名(内女性会員5名)を含む
※函館五稜郭RCには五稜郭すずらんロータリー衛星クラブの会員数5名(内女性会員0名)を含む

国際ロータリー第2510地区 地区大会 地区大会実行委員会中田隆博実行委員長のメッセージ

「ロータリーの楽しさを感じ、華やかに、を目標に」

現在、札幌RCと地区大会実行委員会では、古野重幸ガバナーのもと、本年10月に開催する国際ロータリー第2510地区・地区大会の準備を進めています。プログラムの内容、出演者との交渉が終了し、さらに詳細な準備をしながら、近隣の各クラブにおじゃましてPR活動を行っているところです。

今年度の地区大会は、10月10日(土)に「会長・幹事会」「地区指導者育成セミナー」「RI会長井代理ご夫妻歓迎晩餐会&大懇親会」を札幌グランドホテル(札幌市中央区北1西4)にて開催します。翌11日(日)には、カナモトホール(札幌市中央区北1西1、札幌テレビ塔のそば。旧札幌市民ホール)にて「本会議」「記念講演会」を開きます。大会に先立つ9日(金)には札幌ゴルフ倶楽部輪厚コースにおいて、「記念ゴルフ大会」を開催します。ゴルフ大会は定員112名ですので、早目のご登録をお願いします。

10日の「会長・幹事会」終了後の「地区指導者育成セミナー」は、会長・幹事限定ではなく全員参加のセミナーとなります。俳優、タレントとして活躍されているサヘル・ローズさんをお迎えし、基調講演とパネル・ディスカッションを予定しています。サヘル・ローズさんは、自身の旅を通しての気づきを綴った著書「生きることから、すべては始まる」(大空出版刊)を今年3月に出版されているほか、多数の著書があります。国内外で児童養護施設やストリートチルドレンへの支援活動も続け、2020年にアメリカで人権活動家賞を受賞し、その活動はロータリーの精神に一致すると考えています。古野ガバナーの肝いりのセミナーでもあり、会員の皆様の参加をお待ちしています。

10日夜は、RI会長代理ご夫妻をお迎えして「歓迎晩餐会」と「大懇親会」となります。懇親会のステージは、ものまねで大人気、十和田奥入瀬観光大使としても活躍しているタレントのりんごちゃんを迎えて、ものまねLIVEを楽しんでいただきたいと思います。こちらにつきましても全会員対象です。多くの会員の皆様と楽しく交流し親睦を深めたいと思います。

翌、10月11日は、カナモトホールに会場を移します。9時からの本会議のあと、午前11時35分から記念講演として脳科学者の茂木健一郎さんをお迎えし、「脳科学から見るAIの未来」と題してご講演をいただきます。この記念講演はロータリーの社会貢献活動の一環として、一般市民の皆様にも参加を呼び掛ける予定です。

今年度の地区大会を開催するにあたり古野ガバナーからは、「各クラブとそのメンバーにスポットを当て、ロータリーの楽しさを感じていただけるような華やかな地区大会にしてもらいたい」と言われています。ガバナーから求められていることのハードルは高いのですが、札幌RC会員全員が力を合わせて、準備を進めてまいります。では、10月に皆さんにお会いできることを楽しみにしています。



10日の会場は札幌グランドホテル



11日はカナモトホールが会場

持続可能なインパクトを生み出そう

2026-2027 ホストクラブ 札幌ロータリークラブ

国際ロータリー 第2510地区

地区大会

Discover your joy in Rotary

登録料

- 会 員 18,000円 ●ご家族 10,000円 ●新世代 7,000円
- RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 & 大懇親会 15,000円
- 記念ゴルフ大会 8,000円

2026
10/10
土札幌
グランド
ホテル札幌市中央区
北1条西4丁目13:40 ▶ 会長・幹事会
登録受付13:0014:45 ▶ 地区指導者育成セミナー[全会員対象]
・基調講演
・パネルディスカッション18:30 ▶ RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
& 大懇親会
登録受付18:002026
10/11
日カナモトホール
(旧札幌市民ホール)

札幌市中央区北1条西1丁目

9:00 ▶ 本会議
登録受付8:3011:35 ▶ 記念講演
閉会時間13:00

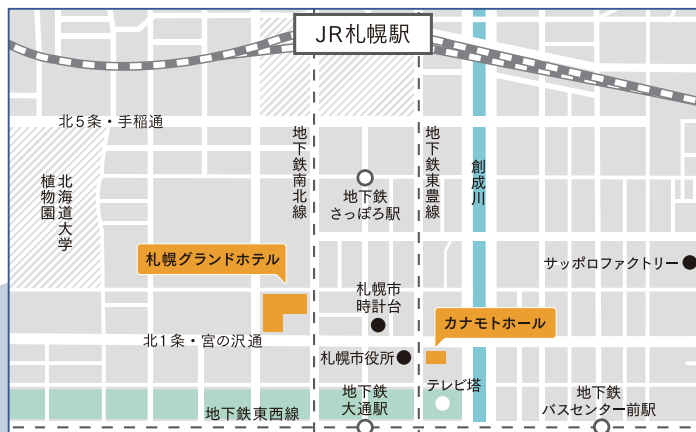
※上記プログラム及び時間は変更される場合がございます。

2026
10/9
金札幌ゴルフ倶楽部
輪厚コース
北広島市輪厚77

記念ゴルフ大会

8:05 スタート

[定員] 112名



持続可能なインパクトを生み出そう

2026-2027 | ホストクラブ | 札幌ロータリークラブ

国際ロータリー 第2510地区

Discover your joy in Rotary

地区大会



国際ロータリー会長
オラインカ・ハキーム・ババロラ



ガバナー
古野 重幸



地区大会実行委員長
中田 隆博

ご挨拶

来る10月10日(土)・11日(日)の2日間、札幌RCがホストを務めRI第2510地区の地区大会を開催いたします。2026-2027年度国際ロータリー会長オラインカ・ハキーム・ババロラ氏のテーマ『持続可能なインパクトを生み出そう』、さらには古野ガバナーが掲げたガバナーメッセージ『Discover your joy in Rotary』のもと、ホストクラブ会員が一丸となって準備にあたっております。

記念講演には、脳科学者の茂木健一郎氏をお迎えし、「脳科学から見るAIの未来」についてご講演をいただきます。今大会にご参加いただいた皆様にとって、お互いの友情の輪が広がり、実りの多い大会になりますよう、努力してまいります。

ぜひ多くのロータリアンとご家族のご参加を心よりお待ちしております。

10月10日(土)

地区指導者育成
セミナー 【全会員対象】

●基調講演

『出会いこそ、生きる力』

講師 俳優、タレント

サヘル・ローズ氏



イラン出身。7歳まで孤児院で過ごし、8歳で来日。舞台『恭しき娼婦』で主演を務め、主演映画『冷たい床』ではミラノ国際映画祭などで受賞。映画・舞台に加え、近年は監督としても活動し、2024年に監督作『花束』を公開。今年3月には、自身の旅を通して得た気づきを綴った新著『生きることから、すべては始まる』を刊行。国内外で支援活動も続け、2020年にアメリカで人権活動家賞を受賞。

●パネルディスカッション

『平和とは何か～未来への対話～』(仮)

アドバイザー

サヘル・ローズ氏

パネリスト

JICA 北海道所長

中川 岳春氏

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン/
RI第2510地区グローバル奨学生

野元 恵理氏

天理大学国際学部准教授/
平和フェロー1期生

小松崎 利明氏

RI第2510地区ロータリーアクト代表

佐藤 大河氏

コーディネーター

国際ロータリー 第2510地区
2024-25年度ガバナー

出村 知佳子氏

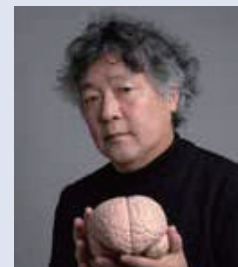
10月11日(日)

記念講演

『脳科学から見る
AIの未来』

～私たちはAIと
どう向き合っていくか～

脳科学者 茂木 健一郎氏



1962年、東京生まれ。ソニーコンピュータサイエンス研究所上級研究員。屋久島おおぞら高校校長。東京大学大学院特任教授、岐阜大学客員教授、Kyutech ARISE顧問、イマジン大学学長。東京大学理学部・法学部卒業、同大学院理学系研究科物理学専攻修了。理学博士。

理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現職。脳科学、認知科学、特に「クオリア」を中心とする意識の科学を研究。『脳と仮想』で小林秀雄賞、『今、ここからすべての場所へ』で桑原武夫学芸賞を受賞。近著に『クオリアと人工意識』。

NHK『プロフェッショナル 仕事の流儀』キャスター、TED登壇など、メディアでも活動。近年はAI alignmentにも取り組み、意識の科学、AI、人間理解を横断し、日本発の知を世界へ発信している。

10月10日(土)

RI会長代理ご夫妻歓迎
晩餐会&大懇親会ステージ

ギャップものまねで大人気!
十和田奥入瀬観光大使としても活躍中!

『りんごちゃん ものまねLIVE』

タレント りんごちゃん

出身地：青森県十和田市

性別：りんごちゃん

趣味：歌う事、料理(中華料理限定)





国際ロータリー(RI)バルセロナ国際大会2027について

登録料 決定 9月17日～21日までは早期割引期間

来年6月26日から30日までスペインのバルセロナで開かれる国際大会の登録料が決まりました。申し込みの時期によって登録料が変わります。ご注意ください。

早期割引期間の最安登録料は、2026年9月17日から21日までに5日間限です。31歳以上のクラブ会員、同伴者、会員以外の方が595米ドルです。

早期割引期間が過ぎた9月22日から来年3月31日までの登録の場合、200米ドル上がり795米ドルとなります。さらに来年4月1日から6月30日までの登録だと895米ドルとなり、早めの登録が断然お得です。早めの登録をおすすめします。

主な日程も固まっています。国際大会推進チームメンバーの出村知佳子PG(札幌北RC)の情報によると、以下のように予定されています(全て現地時間)。さらに詳しい日程は決まり次第、発表されます。

国際大会ひとくちメモ

6月26日(土)	受付 友愛の家開幕 歓迎行事 夕刻からJapan Night
6月27日(日)	開会セレモニー 本会議 分科会 友愛の家 交流行事
6月28日(月)	本会議 分科会 各種関連イベント
6月29日(火)	本会議 分科会 各種関連イベント
6月30日(水)	最終本会議 閉会セレモニー

BARCELONA
2027

RIバルセロナ 国際大会 2027

世界とつながる、
バルセロナへ。

2027年6月26日～30日 バルセロナ・スペイン

会場：Fira Barcelona Gran Via

登録料

	2026年9月17日～21日 5日間限定・早期割引	2026年9月22日～ 2027年3月31日	2027年4月1日～ 6月30日
クラブ会員、会員以外の方、 または同伴者（31歳以上）	US\$595	US\$795	US\$895
クラブ会員、会員以外の方、 または同伴者（30歳以下）	US\$250	US\$350	US\$400
5～18歳の同伴者	US\$20	US\$30	US\$40
5歳未満の同伴者	無料	無料	無料

RIバルセロナ国際大会 推進チーム

推進チームメンバー

出村 知佳子 | chikakodemura@gmail.com

日本チーム

第1地域 佐渡 正幸
RID2500・釧路北ロータリークラブ

第2地域 中川 雅雄
RID2580・東京浅草ロータリークラブ

第3地域 大橋 秀典
RID2660・東大阪東ロータリークラブ

大会登録・詳細

<https://convention.rotary.org/ja-jp/registration>

地区カレンダー（9月・10月）

9月 基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間	
1 (火)	公式訪問(江別西RC、札幌大通公園RC)
2 (水)	公式訪問(留萌RC)
3 (木)	公式訪問(羽幌RC)
4 (金)	
5 (土)	地区親睦野球大会(岩見沢市営球場)
6 (日)	
7 (月)	第1回ガバナーエレクト・ラーニングセミナー(GELS) (神戸～8日)
8 (火)	公式訪問(北広島RC、千歳セントラルRC)
9 (水)	公式訪問(倶知安RC) 2027-28年度地区ラーニングファシリテーターセミナー (神戸)
10 (木)	公式訪問(岩内RC)
11 (金)	公式訪問(小樽南RC)
12 (土)	
13 (日)	
14 (月)	公式訪問(蘭越RC)
15 (火)	公式訪問(小樽RC)
16 (水)	公式訪問(札幌モーニングRC、余市RC)
17 (木)	公式訪問(札幌東RC)
18 (金)	公式訪問(札幌幌南RC)
19 (土)	
20 (日)	
21 (月)	敬老の日
22 (火)	国民の休日
23 (水)	秋分の日
24 (木)	
25 (金)	
26 (土)	
27 (日)	RLIセミナー パートI(函館開催)
28 (月)	
29 (火)	公式訪問(札幌西RC)
30 (水)	

10月 地域社会の経済発展月間/米山月間	
1 (木)	公式訪問(札幌西北RC)
2 (金)	公式訪問(札幌ライラックRC)
3 (土)	公式訪問(札幌手稲RC)
4 (日)	
5 (月)	
6 (火)	公式訪問(函館セントラルRC)
7 (水)	公式訪問(新札幌RC)
8 (木)	
9 (金)	地区大会記念ゴルフ大会
10 (土)	地区大会(札幌)
11 (日)	地区大会(札幌)
12 (月)	スポーツの日
13 (火)	
14 (水)	公式訪問(砂川RC)
15 (木)	公式訪問(芦別RC、滝川RC)
16 (金)	
17 (土)	
18 (日)	
19 (月)	公式訪問(札幌南RC)
20 (火)	公式訪問(赤平RC)
21 (水)	公式訪問(恵庭RC)
22 (木)	公式訪問(美唄RC、岩見沢RC)
23 (金)	
24 (土)	北斗RC創立30周年記念式典
25 (日)	RLIセミナー パートI(札幌)
26 (月)	
27 (火)	公式訪問(札幌清田RC) 札幌はまなすRC創立35周年記念式典
28 (水)	
29 (木)	公式訪問(千歳RC)
30 (金)	
31 (土)	

【表紙について】



基本的教育と識字率向上

基本的教育と識字率向上月間

ロータリーは、世界中のすべての子どもが
教育を受け、あらゆる年齢層の人が
読み書きのスキルを身につけられるように、支援します。

北海道の花

エゾリンドウ (*Gentiana triflora* var. *japonica*)

リンドウ科リンドウ属の多年草。

日本原産で、北海道から本州中部以北の山地や北方の湿地に生育する。

濃い青紫色の花が秋の訪れを告げる。

根が苦く「竜の胆みたいだ」ということから「竜胆(りゅうたん)」となり、
それが訛って「りんどう」と変化し、和名として定着したとされている。

漢方薬ではこの根が胃の妙薬として知られている。

撮影と解説 大原 雅(札幌RC)